

振り込め詐欺未然防止功労者に感謝状

3月4日(木)、狭山警察署で振り込め詐欺未然防止功労者に対する感謝状の贈呈が行われました。

この経緯は、2月19日に武蔵野銀行入曾支店を訪れた70代ぐら



の女性から150万円の振込を依頼されたが、本人の口座ではなく息子名義での振込依頼だったため振込名義人の本人確認願いをしたところ女性は「X書きの携帯電話番号へ確認。不審に思った同行員が振り込め詐欺対策の一環として「最近、携帯電話の番号が変わった」と電話がありませんか」と質問したところ番号が変わったと電話があったことが判明しました。

行員は振り込め詐欺に間違いないと判断し上司へ相談、同行は警察へ通報し振り

込め詐欺を未然に防止しました。

同行の対応により振り込め詐欺を防止できたことから武蔵野銀行入曾支店と女性の対応をした窓口の同行員へ狭山警察署長から感謝状が手渡されました。

同行入曾支店では2009年2月にも振り込め詐欺を未然に防止しており、今回で2度目ということになります。

支店長は「今回は未然に防げたということですから良かったです。今後とも振り込め詐欺が出ないようにしていきたいと思っております」と話しました。

第2回走り方教室

2月24日(水)、入間川小学校・入間川中学校校庭で、「第2回走り方教室」が行われました。

両校は、狭山市の小・中連携教育推進モデル校に指定されており、その事業の一環として、また小中学校の児童・生徒や家庭、地域との連携を図り、それぞれの教育力を生かして子供を育成していくことを目的とした「夢・きらり」入間川っ子「ふれあい事業」として行われています。

講師は、第86回箱根駅伝で総合優勝した東洋大学陸上競技部監督の酒井俊幸氏と同大学陸上競技部の部員4名です。

今回は、1・2年生、3・4年生、5年生と中学1年生、6年生と中学2年生の組み合わせで行われました。それぞれの時間で講師・部員の紹介や準備体操、ランニングを行



い、模範演技で、部員が箱根駅伝と同じ速さでランニングをすると、児童らはその速さに驚きの声を上げていました。

その後、正しい姿勢で腕を大きく振ったり、膝を高く上げるなどの練習をしました。高学年と中学生には走る時の足の着地の仕方などが指導されました。

最後に対抗リレーが行われ、児童は各クラス一人50メートル、部員は一人200メートルを走り競います。児童らは懸命に走り、仲間がリードするとひと際大きな声援が上がりました。

関係者は「今回で2回目になりますが、普段接することのない選手と一緒に走ることは、子どもたちにとって貴重な体験になると思います」と話しました。

堀兼地区一斉生活安全・防犯活動

3月8日・9日の2日間、堀兼地区一斉生活安全・防犯活動が行われました。

これは、堀兼地区地域防犯ネットワーク参加団体による地域防犯活動の一環として実施することにより、地域の生活安全・防犯・青少年の健全育成の一助とすることを目的に平成18年度より行われています。

午前7時前に関係者及び狭山警察署員が集合し、自治会長らの挨拶があり、狭山警察署生活安全課柳田係長は「地域で機会を設けないと地域の防犯熱が盛んになりません。是非防犯熱を高揚していくためにも、引き続きこのような機会を設けて頂きたいと思っております」と話しました。

その後、パトロールカー・狭山防犯協会の広報車・青パトロールカーによる巡回、小学



生通学班の通学路や交差点等60の危険箇所を巡回しました。各箇所には、2名以上を配置し、防犯ベスト・防犯用腕章を着用して活動を行い、2日間で延べ271人が参加しました。

通学路となった交差点や道路で子ども達に「おはよう」と声を掛けながら安全を確認して行きました。

同参加団体では、登下校等見守り活動について今後も任意に実施していくそうです。

東中おやじの会卒業祝いの餅つき

3月13日(土)、市立東中学校で「東中おやじの会卒業祝いの餅つき」が行われました。

これは、毎年卒業式に同校のおやじの会が餅をつき、卒業生と教職員に対し祝いの品として紅白餅を贈っているものです。

今回用意されたもち米は30kgで、前日の夜より準備が始められ、当日はPTA役員も加わり、朝の7時から作業が進められました。

おやじの会のメンバーが交代で餅をつき、つくってきた餅をPTA役

員が丸めていきます。出来上がった紅白もち米は、卒業する3年生5クラスと教職員など238名に配られました。

おやじの会のメンバーは、「今回は土曜日だったので参加者も多く、餅つきや他の作業も早く進められることが出来ました。」

SRSリズムなわとび発表会2010

3月7日(日)、狭山市市民会館中ホールで「SRS(狭山ロープスキップングクラブ)リズムなわとび発表会2010」が行われました。

「リズム縄跳び」は、音楽に合わせて縄跳びでダンス等のパフォーマンスを披露するもので、今年で22回目となります。

リズム縄跳びは、市立南小学校の授業で取り入れられたのをきっかけに、現在では全国的に普及しています。

SRSは、リズムなわとびの普及の為に1987年に結成、当初は100名を越える会員が在籍していました。

現在では、市内だけでなく入間、所沢等、市外からも会員が集まり、30名在籍しています。週1回の練習の他に、市内各イベントへ出演、毎年、病院への慰問でも活躍しています。

オープニングパフォーマンスが丸めていきます。出来上がった紅白もち米は、卒業する3年生5クラスと教職員など238名に配られました。

おやじの会のメンバーは、「今回は土曜日だったので参加者も多く、餅つきや他の作業も早く進められることが出来ました。」



マンソスの後、リズムなわとびの発案者である牛窪さんが挨拶、また来賓として五十嵐衆議院議員が挨拶しました。

発表会は3部構成で行われ、小学生15名、中学生3名とインストラクター12名が披露。その演技に会場からは拍手や歓声が贈られました。また、この日は千葉県山武市の山武リズムなわとびの会が友情出演し会場を盛り上げました。

この日会場には、およそ450名が集まり、2時間に渡りなわとびのパフォーマンスを楽しみました。

この餅つきを始めてすでに9年くらい経つので、これからも継続させていきたいですが、年々会のメンバーが少なくなってきたのでぜひ多くの方に参加していただきたいです」と話していました。